

研究課題名	脳神経外科領域での脊髄病変における手術成績および術後転帰予測因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴
研究期間	許可日～ 2035年12月31日
対象者	2000年1月から2030年1月の間に、広島大学病院脳神経外科で脊髄疾患に対して外科的加療を受けられた患者さん。
意義・目的	脳神経外科領域においては、脊髄腫瘍(髄膜腫、神経鞘腫、上衣腫など)・脊髄血管疾患(硬膜動静脈瘻、動静脈奇形など)・脊髄絞扼性疾患(脊柱管狭窄症、キアリ奇形など)といった多様な病態の脊髄疾患に対する治療を行います。その診断や、治療に苦慮する病変も存在します。これら脊髄疾患に対しては、MRIやCTなどの従来の検査方法に加え、脊髄血管撮影や、術中超音波検査、脳神経モニタリング技術など様々な評価手技の有効性や報告、注目されています。一方で、術後長期間にわたる転帰を調査した報告も少なく、長期的な術後フォローの方法や、術後転帰を予測する因子の確定は不十分です。本研究では当科で施行した脊髄疾患に対して周術期検査結果や手術内容の解析に加え、その後の長期的な転帰を後方視的に検討することで、脳神経外科が治療対象とする脊髄疾患に対する、有効な病態評価方法の体系を確立し、各検査結果と長期的な転帰との関係を明らかとすることが目的です。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、画像所見、病理所見です(個人を特定可能な情報は解析に用いません)。
利用開始予定日	実施許可日以降
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ・苦情等の窓口	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他

の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5227

広島大学医系科学研究科脳神経外科 医科診療医 前田 雄洋

研究機関：広島大学